

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	有害鳥獣被害対策事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市内におけるイノシシ等による農作物等の被害を防止し、農業の育成を図るために、市鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会等による捕獲活動や農家の防護柵等設置経費の助成を行い、農作物被害の軽減を図る。		
29年度概要	イノシシ・サル対策 箱わな設置業務委託・被害防止対策補助(捕獲)・防護柵等整備助成・箱わな導入事業・狩猟免許申請手数料助成・獣害に強い市街地づくり支援事業・指定管理鳥獣捕獲等推進事業・集落活動支援事業負担金・麻酔薬等購入 アライグマ対策 箱わな購入・殺処分機用炭酸ガス代・防除支援(捕獲) その他の事業 カラス対策(弾代補助)・カワウ対策・高松市鳥獣被害対策実施隊員報酬・野生鳥獣システム負担金		
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象(何を)	市内総農家、鳥獣による被害農家数
意図(どのような状態にしたいか)	イノシシやアライグマ等有害鳥獣による、被害地区住民による獣害を寄せ付けない鳥獣ストップゾーン(緩衝帯)の整備、集落単位での防護柵等による防護、香川県猟友会等による有害捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等推進事業等による捕獲を強化し被害の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
イノシシ等捕獲に係る補助金交付件数	件/年			1,021	1,500	550
防護柵等設置に係る補助金交付件数	件/年			66	70	70

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	有害許可捕獲による捕獲頭数	頭	目標値			450	1,650	550
			実績値			1,610		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 鳥獣被害防止計画に基づき、イノシシ捕獲者数や防護柵等を設置した農家数を増加することで、農作物等の被害の軽減を図る (目標達成度)	2000 1500 1000 500 0		H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31		(達成度) 357.8%		35点
成果指標	有害鳥獣による農作物被害面積	h a	目標値			19.33	19.13	18.74
			実績値			19.33		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 鳥獣被害防止計画に基づき、イノシシ捕獲頭数の増や防護柵等の設置を推進することにより、農作物等の被害の軽減を図る (目標達成度)	25 20 15 10 5 0		H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31		(達成度) 100.0%		35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[円]	18,197	21,869	37,780	35,427
(事業費)	[円]	10,078	13,424	22,863	20,510
(職員人件費)	[円]	8,119	8,445	14,917	14,917

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

県の補助要綱の変更により、補助対象期間が狩猟期を含み通年化されたことから捕獲頭数が大幅に増加した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き捕獲に努めるとともに、環境整備(鳥獣ストップゾーンの整備)、防御(集落単位での防護柵の設置等)を一体的に実施する。